

2019年度 経営学科「知の探究」

※)標準履修年次2019年度2年生対象

※)「知の探究」開設9クラス・リスト

※)各クラス定員 26人 予定【2018年度実績24人】

※)春学期終了頃に、履修を希望するクラスを3つ申請し、配属クラスを1つ決定

※)各クラスの詳細な授業計画・内容については、シラバスを参照のこと

2019年度 開設予定クラス		曜日	学問分野 キーワード	授業概要 (シラバス)	授業計画概要
金 必中	キム ピルチュン	月3	マーケティング戦略, 業界と競争の理解, 論理の展開, 資料収集	この科目は、3年次におけるゼミナールの基礎的な前提となる科目であり、専門領域の基礎的な理解を深めるためのものである。企業経営、公共経営、会計、経済・ファイナンス、統計・情報技術、法律など本学部の専門領域を網羅した形で各教員が担当する。専門の基礎を学ぶことで、3年次からのゼミナールへの移行がスムーズに行くと考えている。成績は、課題の提出とその内容により評価する。	本授業は、マーケティングと企業経営領域のゼミナールを希望する学生を対象に、3年次の学習と研究に必要とされるモノの見方や基礎知識の習得を目指す。マーケティングや業界・競争を理解するとともに、良い研究とは何か、どのように思考し論理を展開するか、資料収集とレポート作成等について学習し、ゼミナールの選択や将来の進路に備える。
青木 勝一	アオキ マサカス	火1	公共経営		本授業では、公共経営分野における事例調査の手法や考え方の基礎を学び、次年度のゼミナール及び卒業論文の作成への導入を図るものである。今年度は、ある自治体(A市)を事例として取り上げ、個々の政策領域に関してその市が直面している課題を調べ、その解決策あるいは取られている政策の改善案を考える。
石塚 浩	イヅカ ヒロシ	月3	経営 経営戦略 市場と組織		この授業では企業のケース(戦略事例)を作成する。経営学の授業では、企業ケースが教材として使われることが多い。ケース・メソッドといわれるケースを用いた教育手法は、欧米の経営系の学部・大学院で主流となっていて、ケースの作成そのものを学生に課すことも行われる。この授業もそれにならない、ケースの書き方について学んだ上で、実際に企業のケースを作成してもらう。そのなかで、企業の戦略分析についても習得してもらうことが目標である。
幡鎌 博	ハタカ ヒロシ	月3	eビジネス/情報化戦略、人的資源管理/組織論、ビジネスモデル論		本授業は、3年次のゼミナールでの専門研究に必要とされる基礎知識・学習方法を習得することを、その到達目標としている。授業内容としては、資料検索の方法の演習、専門的な経営学の書籍(今年度はシェアリングエコノミー関連の書籍)の輪読、専門的な事例研究を行う。
鈴木 誠	スズキ マコト	火1	ファイナンス(金融)、インベストメント(投資)など		ファイナンスとは、経済学と経営学の交差する領域であるが、その扱う範囲は広い。本講座においては、基礎的な知識の習得を目指すこととする。具体的には、金融機関の役割について理解を深めたり、株式や株式投資について疑似的体験を通して考察したりする予定である。最終的には日経新聞の記事が理解できるレベルに達するように導きたい。
森 一将	モリ カスマサ	火1	マーケティング分析、多変量解析、ビジネス心理学		本授業では、企業におけるマーケティング活動などの集団的意思決定に必要な数理知識及び統計技法を習得し、合理的意思決定の方法について理解を深める。特に本授業では統計的仮説検定の諸手法を演習することにより、その背後にある合理性の基本構成を理解し、それを基にしてマーケティング分析のレポートが書けるようになることを目指す。
堀田 敬介	ホッタ ケイスケ	火1	問題発見、問題解決、オペレーションズ・リサーチ、シミュレーション、意思決定科学、経営科学		複数の代替案(選択肢)から望ましいものを選ぶという意思決定をするためには、適切な問題発見と問題解決の技法が必要となる。本コースでは、Excel等PCを利用してどのように問題発見・解決をするか、いくつかのトピックについて実践的に学ぶ。ゲーム理論、シミュレーション、最適化、GISなどを扱う。
櫻井 宏明	サクライ ヒロアキ	月3	公共経済、経済政策、地域振興		政策企画立案の上で、海外の議論や優良事例の調査は有益である。本授業では、近年アメリカで議論されている地域振興の基本的考え方について、翻訳書の輪読を通じ学習する。特に経済学の考え方をういて書籍などを読み、海外を含めた優良事例を収集、政策立案に貢献するレポート作成能力の養成を目標とする。
志村 正	シムラ タシ	火1	会計全般、一部経営学を含む		財務会計、管理会計を問わず、会計の考え方や会計の用い方について学習する。論理的に考える能力を向上することを目指す。ディスカッションやプレゼンなどにより進める。最後に、ビジネス・ゲームを行って企業経営を疑似体験する。会社四季報、日経新聞などを用いた分析やFPなどの資格についても取り上げる。